

2023 8/8・22 合併号

No.2192・2193

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



第105回全国高校野球選手権記念神奈川大会は7月26日、横浜スタジアム（横浜市中区）で慶応—横浜の決勝が行われ、慶応が5年ぶり6度目の優勝を飾った。8月6日開幕の「甲子園」で頂点を目指す。



政経かながわ

2023 8/8・22 合併号
No.2192・2193

contents

視点点描	3
慶応Vで沸いた高校野球	
講演録	4
バイブラント いのち 「Vibrant INOCHI」 神奈川県知事 黒岩 祐治	
特集	8
衆院選の行方は？ 注目の内閣改造 自民党役員人事 岸田首相着手へ	
特集	12
ウクライナ戦争 対ロシア1年半 見えざる「電磁波領域戦」	
政治双眼鏡	16
次期衆院選、維新が台風の目に	
経済双眼鏡	17
進化する「オウンドメディア」	
平井久志×リアルワールド	18
犬の肉、南は忌避、北は伝統食	
馬場典子のNEWS箸休め	19
ハリウッドスターの叫び	
くらし2023	20
保育士の働き方改革 アイデア続々も課題 自治体支援に地域差も	
かながわTODAY	22
7月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2023年8月の見学・講演会
8月25日(金)午後1時半～3時

eスポーツ高等学院ヨコハマ
eスタジアムの見学と講演
(横浜市中区太田町、横浜MBCビル)

演題：eスポーツと教育の未来
講師：eスポーツ高等学院
スーパーバイザー
深澤 文伸氏

◇2023年9月の講演会
9月8日(金)午後1時半～3時
メルヴェーユ「ヴァランセ」
(横浜市中区桜木町)

演題：Kアリーナ横浜の紹介
と今後の展望
講師：Kアリーナマネジメン
ト社長
田村 剛氏

◇2023年10月の講演会
10月12日(木)午後1時半～3時

ロイヤルホールヨコハマ(横
浜市中区山下町)
講師：駐横浜大韓民国総領事
金 玉彩氏

※年末のシンポジウム「2024
年の動向を読む」は12月15日
(金)午前11時からの予定です。

視点 点描



慶応Vで沸いた高校野球

第105回全国高校野球選手権神奈川大会は、慶応の5年ぶり6度目の優勝で幕を閉じた。代表が2校出る記念大会では夏の甲子園に出場してきた慶応だが、単独の神奈川代表となるのは実に61年ぶり。東海大相模と横浜を相次いで破つての頂点で、2年生小宅投手を中心にした投手力、どの打順か

らも長打が出る打力ともに、甲子園出場チームの中でも出色だろう。掲げる目標は「KEIO日本一」。2015年の東海大相模以来の全国優勝へ、躍進を期待したい。

横浜との決勝は歴史に残る名勝負だった。九回、慶応・丸田選手とセカンドゴロを併殺にとろうと

した横浜・緒方選手が二塁ベースを踏んでいないと判断され、オールセーフに。その後慶応・渡辺選手の逆転3ランホームランが出たため、微妙な判定にさまざまな意見が寄せられた。リプレイ映像を見ても足がベースに触れているかは分からなかった。二塁のタイミングは完全にアウトで、緒方選手は守備の名医。だが丸田選手も俊足で、併殺は難しかった。そんな中で横浜にとっては厳しいジャッジだったが、ここは審判の判断を尊重するべきだろう。一方で、プロスポーツで次々と導入されているように、例えば神奈川大会の準々決勝以上など体制の整えられるところでビデオ判定を導入するなどの議論はあってもいいと思う。

なったことだろう。入場制限もなくなり、7月26日に決勝戦が行われた横浜スタジアムの入場者は、平日にもかかわらず約2万7千人に上り、ウイング席にまで観客が入った。25年ぶりに横浜商(Y校)がベスト4に入って伝統の「YY対決」となった24日の準決勝では、Y校の三塁側スタンドがマリンプールに染まって大いに盛り上がった。高校野球でここまでの人を集めるのはやはり神奈川ならではの。高校野球が選手と保護者たちだけでなく、ブラスバンド、チャリダー、そして応援に駆けつける同級生たちなど、多くの人にとって夏の大イベントであることが改めて思い出された。新型コロナウイルス感染がまだくすぶる中だったが、無事に大会を終えた県高野連関係者に感謝したい。

(神奈川新聞社運動部
編集員兼論説委員・和城 信行)